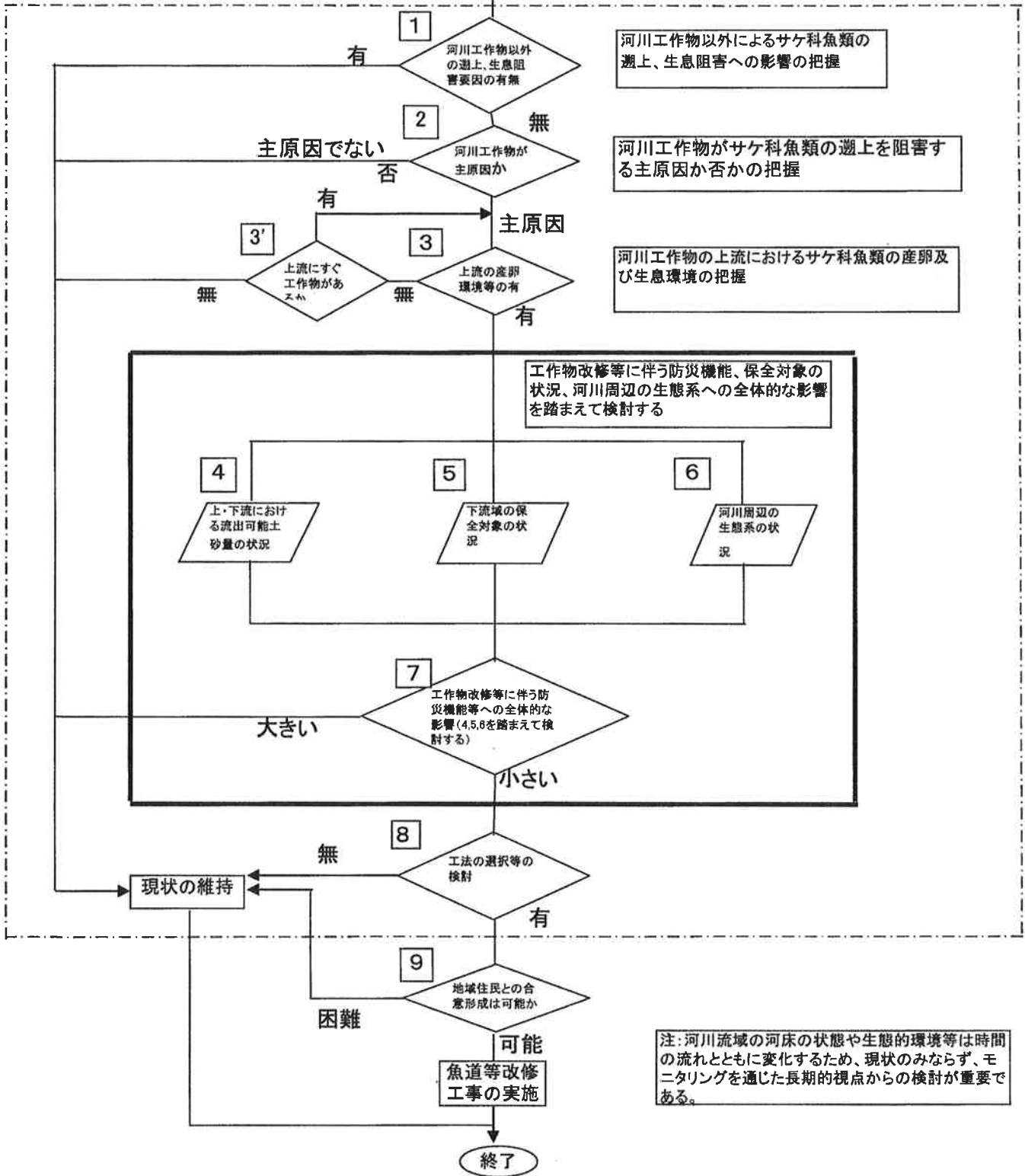


河川工作物がサケ科魚類に与える影響評価手法(案)
(河川環境・防災面等からの影響評価を含む)

河川別サケ科魚類の遡上量の把握(調査資料)

破線内が評価手法
の適用範囲

関係者への事前情報の提供



河川工物影響評価表(フロー4~7)(2-1)

河川名	本				川					
河川工物名	1 ふ化場 1.0		7 森管局 2.44		3 森管局 2.58		4 森管局 2.59			
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流地域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流地域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流地域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	
評価項目	①滞留土砂量 ②土砂生産源	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	①滞留土砂量 ②土砂生産源	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	①滞留土砂量 ②土砂生産源	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	
その他参考事項	過去に10~15年おきに土石流が発生しており、昭和54.56年に激甚災害を受けている。		過去に10~15年おきに土石流が発生しており、昭和54.56年に激甚災害を受けている。		過去に10~15年おきに土石流を受けている。		過去に10~15年おきに土石流が発生しており、昭和54.56年に激甚災害を受けている。		過去に10~15年おきに土石流が発生しており、昭和54.56年に激甚災害を受けている。	
7. 工物改修等に伴う防災機能等への影響	専門家の意見を踏まえた総合評価		現状維持が適当		現状維持が適当		現状維持が適当		下流側の工物(7.3(森林管理局))の「現状維持」と併せて考えて現状維持が適当。	

河川名	川				川					
河川工物名	1 追(橋) 斜里町 2.18		8,10 森管局 2.51, 1.98		1 (導水管) 斜里町 1.5		11 森管局 2.08			
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流地域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流地域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流地域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	
評価項目	①滞留土砂量 ②土砂生産源	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	①滞留土砂量 ②土砂生産源	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	①滞留土砂量 ②土砂生産源	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	
その他参考事項	昭和54.56年に激甚災害を受けている。直上流には土石流による巨礫が貯留している。		昭和54.56年に激甚災害を受けている。既に魚道が設置されている。		昭和54.56年に土石流が発生しているが、他の本支流に比べて軽微である。		昭和54.56年に土石流を受けているが、他の本支流に比べて軽微である。		昭和54.56年に土石流を受けているが、他の本支流に比べて軽微である。	
7. 工物改修等に伴う防災機能等への影響	専門家の意見を踏まえた総合評価		現状維持が適当		現状維持が適当		現状維持が適当		下流にある工物(7.3(森林管理局))の「現状維持」と併せて考えて現状維持が適当。	

河川工物影響評価表【フロ-4~7】(2-2)

河川名	イ ウ コ			イ ツ 川			モ セ カ ル ベ ツ 川		
	赤	12 森管局 3.22	13 森管局 3.15	1 北海道 1.37	2 北海道 1.26	1 北海道 1.37	2 北海道 1.26	1 北海道 1.37	2 北海道 1.26
河川工物物名									
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響
評価項目	①滞留土砂量 中	②土砂生産源 小	①産卵床の保全性 中くらい	①滞留土砂量 中	②土砂生産源 小	①産卵床の保全性 中くらい	①滞留土砂量 大	②土砂生産源 大	①産卵床の保全性 中くらい
その他参考事項	昭和54.56年に土石流が発生しているが、他の本支流に比べて軽微である。								
7. 工物改修等に伴う防災機能等への影響	他の本支流に比べ、堆積している礫径が小で、巨礫も少なく、河床勾配の緩い比較的安定している河川であることから改良の検討を行うことが適当。								
河川工物物名									
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響
評価項目	①滞留土砂量 大	②土砂生産源 大	①産卵床の保全性 中くらい	①滞留土砂量 大	②土砂生産源 大	①産卵床の保全性 中くらい	①滞留土砂量 大	②土砂生産源 大	①産卵床の保全性 中くらい
その他参考事項	昭和62年の豪雨により土石流が発生し、ダム堆砂域に土石流の痕跡が見られる。								
7. 工物改修等に伴う防災機能等への影響	他の本支流に比べ、堆積している礫径が小で、巨礫も少なく、河床勾配の緩い比較的安定している河川であることから改良の検討を行うことが適当。								

河川名	モ セ カ ル ベ ツ 川			イ ツ 川			モ セ カ ル ベ ツ 川		
	3 北海道 0.87	4 北海道 0.83	6 北海道 0.54	1 森管局 3.41	1 森管局 3.41	1 森管局 3.41	1 森管局 3.41	1 森管局 3.41	1 森管局 3.41
河川工物物名									
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響
評価項目	①滞留土砂量 大	②土砂生産源 大	①産卵床の保全性 中くらい	①滞留土砂量 大	②土砂生産源 大	①産卵床の保全性 中くらい	①滞留土砂量 大	②土砂生産源 大	①産卵床の保全性 中くらい
その他参考事項	昭和62年の豪雨により土石流が発生している。ダム堆砂域に土石流の痕跡がみられる。								
7. 工物改修等に伴う防災機能等への影響	他の本支流に比べ、堆積している礫径が小で、巨礫も少なく、河床勾配の緩い比較的安定している河川であることから改良の検討を行うことが適当。								

河川工作物影響評価表(フロー4~7)(2-3)

河川名	モ		セ		カ		ル		ベ		ツ		川	
河川工作物名	2 森管局 1.95		3 森管局 2.31		4 森管局 2.48		5 森管局 2.21		5 森管局 2.21		5 森管局 2.21		5 森管局 2.21	
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源	
評価項目	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	
その他参考事項	昭和62年の豪雨により土石流が発生している。ダム堆砂域に土石流の痕跡がみられる。													
7. 工作物改修等に伴う防災機能等への全体的な影響	現状維持が適当													

河川名	モ		セ		カ		ル		ベ		ツ		川	
河川工作物名	6 森管局 3.84		1 森管局 4.7		2 森管局 4.32		1 森管局 4.7		2 森管局 4.32		1 森管局 4.7		1 森管局 4.32	
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源	
評価項目	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	
その他参考事項	昭和62年の豪雨により土石流が発生している。ダム堆砂域に土石流の痕跡がみられる。 平成2年の低気圧による大雨により河川が荒廃した。 昭和47.48年集中豪雨により甚大な被害が発生した。													
7. 工作物改修等に伴う防災機能等への全体的な影響	現状維持が適当													

河川工物影響評価表(フロア4~7)(2-4)

河川名	ル	シ	ヤ	川	サ	シ	ル	イ	川
河川工物名	3 北海道 0.34	4 北海道 0.59	4 北海道 0.59	4 北海道 0.59	1 北海道 0.0, 1.85	1 北海道 0.0, 1.85	2 北海道 0.40, 2.67		
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源	5. 下流域の保全対象の状況 保全対象の重要性	5. 下流域の保全対象の状況 保全対象の重要性
評価項目	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性
その他の参考事項	昭和47.48年集中豪雨により甚大な被害が発生した。				昭和41年の豪雨により河川が荒廃した。既に魚道が設置されている。				昭和41年の豪雨により河川が荒廃した。既に魚道が設置されている。
7. 工物改修等に伴う防災機能等への全体的な影響	深床勾配が緩く、滞留土砂量等も少なく比較的安全に定している河川であることから、改良の検討を行うことが適当。				深床勾配が緩く、滞留土砂量等も少なく比較的安全に定している河川であることから、改良の検討を行うことが適当。				既存の魚道の改修を含め改良の検討を行うことが適当。

河川名	ケ	ン	ネ	ベ	ツ	川
河川工物名	1 北海道 1.90, 2.80	1 北海道 1.90, 2.80	2 北海道 2.8	2 北海道 2.8	3 北海道 4.1	4 北海道 3.50
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況 ①滞留土砂量 ②土砂生産源
評価項目	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響 ①産卵床の保全性 ②生態系の保全性
その他の参考事項	昭和40年の台風23,24号の集中豪雨で甚大な被害を受けた。					
7. 工物改修等に伴う防災機能等への全体的な影響	現状維持が適当		現状維持が適当		現状維持が適当	

河川工作物影響評価表(フロ-4~7)(2-5)

河川名	ケ		ン		ネ		ベ		ツ		川	
河川工作物名	5 北海道 2.70		6 北海道 4.10		7 北海道 7.40		8 北海道 9.50					
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況	5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響
評価項目	①滞留土砂量 ②土砂生産源	①保全対象の重要性 ②生態系の保全性	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	①滞留土砂量 ②土砂生産源	①保全対象の重要性 ②生態系の保全性	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	①滞留土砂量 ②土砂生産源	①保全対象の重要性 ②生態系の保全性	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性	①滞留土砂量 ②土砂生産源	①保全対象の重要性 ②生態系の保全性	①産卵床の保全性 ②生態系の保全性
その他参考事項	中	高い	中くらい	中	小	高い	中	小	高い	中	小	高い
7. 工作物改修等に伴う防災機能等への全体的な影響	昭和40年の台風23,24号の集中豪雨で甚大な被害を受けた。											
専門家の意見を踏まえた総合評価	現状維持が適当				現状維持が適当				現状維持が適当			